

今年もしっかりウナギを賞味

胃袋満足気持満足 足腰軽く巣鴨とげぬき地蔵へ

企画委員会

「肝吸い付きうな重」を、今年もまたまた賞味しました。鹿児島島のウナギです。肉厚で食べ応えあり、脂がのって身がほどよくほぐれ、食の奥義を高める芳醇な香りのタレ、・・・なんとも言えません、うまい旨い！実に美味しいです。今回も添えられた肝吸い、これがまた絶品でうな重との合わせ技です。うれしく楽しくうな重を皆で囲みました。

うな重で力がついたので、巣鴨から、三ノ輪迄遠征しました。巣鴨では、とげぬき地蔵参拝と商店街散策、三ノ輪へは都内唯一の都電東京さくらトラム荒川線乗車を楽しみ、沿線のボランティアご自慢のバラを鑑賞しました。

期 間：2025年6月17日（火）

費 用：3,400円（うな重、肝吸い付）

巣鴨への交通費、都電乗車料金他

集 合：午前11時45分 JR駒込駅北口改札口

食事処：割烹「都鳥」東京都北区田端3丁目7-6

散策参拝：巣鴨とげぬき地蔵と商店街

乗車体験：都電東京さくらトラム（荒川線）

解 散：うな重後は、各自の都合で適宜流れ解散

リーダー：

参加者：18名

順 路 JR駒込駅北口改札→田端銀座前→

ウナギ都鳥→うな重 賞味→徒歩→JR駒込駅→

JR巣鴨駅→江戸六地蔵（真性寺）→巣鴨商店街→

とげぬき地蔵（高岩寺）→巣鴨商店街→

庚申塚駅（都電荒川線）→三ノ輪橋駅→バラ鑑賞→

三ノ輪橋電停前喫茶店にて歓談→解散



お店の前で 恒例の記念写真



うな重+肝吸い 最高の贅沢



うなぎを待つ間 期待一杯腹スカスカ



リーダーから蘊蓄のあるご挨拶

都鳥 本命うな重、肝吸い

やはり今年もうまかった。「肝吸い付きうな重」卓に運ばれた時の香りで鼻腔から、金泥塗りのお重の中身のウナギを想像し、肝吸いの琥珀色の澄まし汁が目から胃袋に”しっかり賞味せよ”との信号を送りました。

お重の蓋を取ると、ウナギが目一杯で下のご飯は見えません。大感激です。身は柔らかく、皮目にしっかりとした焼の香りがあり、やや甘いタレで、山椒の香りを併せて鰻とご飯の競演を楽しみました。肝吸いの澄ましがうま味を増していました。

こんな旨い料理が毎年賞味できるのは、リーダーがこのお店のオヤジと親しいお陰です。感謝！感謝！

店の卓は18名で満席で、お店借り切りでした。

WSC会員のみで、贅沢なウナギ賞味の宴会でした。

まずは、巣鴨へ

この後、巣鴨への散策に14名が参加しました。巣鴨商店街は1kmほどで、道の両側には昔チックなお店が勢ぞろいでした。ここをゆっくり歩いて、ウィン

ドショッピングと冷やかしをそれぞれの方がそれぞれのお好みで楽しみました。

巣鴨の商店街

この商店街で特に目立つのが、レッド・パワーです。お店の名は、ずばり「日本一の赤パンツ」、目をひきます。ご婦人向けの「赤パンツ」と赤肌着や赤グッズの専門店です。お店の中にいるだけで元気と活力が出てくるフシギ空間でした。



食べもの屋さん、数多くありました。懐かしい「塩大福」発祥の和菓子店がありました。でき立ての「塩大福」で食べ歩きにぴったりだそうです。昭和のヒトはお行儀が良いので、食べ歩きはしませんが、・・・



この店の塩大福は、材料にはもちろんのことこだわりがあり、さらに季節にあわせ塩加減を塩梅しているそうです。道産の小豆のあんこ入りは、甘味と塩気のバランスが絶品でした。

「地蔵最中」は、とげぬき地蔵をかたどったそうです。つぶし・胡麻・抹茶のあんこの3種類がありました。能書きでは、自分の体に気になる所があればそこから食べるのがおすすめです。



店表にせんべいがか所せましと賑やかに並んでいるのが、目につきました。3種の割れせんが名物で、いずれも二度漬けや焦がしになっていました。もちろん焼き立てで美味しそうなので、早速購入しました。焼き具合が堅すぎずに丁度良い加減で、味も醤油の味が濃く、ビールによく合いそうでした。



名物に美味しいものなしといわれますが、ここは例外です。焦がしせんべいは特に美味で、せんべい好きには堪らない品でした。以上、せんべい大好き人間の個人の感想でした。



江戸六地蔵(真性寺)

巣鴨商店街は、地蔵通りとも云われます。ここはもともと中山道の出発点で、旅人の安全を祈願したお地蔵があります。このお地蔵さんが鎮座ましますのが、ここ真性寺です。境内左手にあるのが、江戸六地蔵の一つです。身の丈が高く、台座におわしますので、見上げてご尊顔を拝すると安心感が伝わってきます。中山道を旅する人が、道中の無事を祈るため必ず参拝したというのはむべなるかなです。



1706年、深川の僧侶・地蔵坊正元（じぞうぼうしょうげん）が15年かけて、青銅の座像を街道口6ヶ所に造ったのが江戸六地蔵だそうです。ここ真性寺にあるのが、4番目です。1番目が品川の品川寺にありWSC旧東海道の七福神巡りで参拝しました。2番目は浅草の東禅寺、3番目は新宿の大宗寺、5番目は江東区白河の霊巖寺にありずっと以前のWSC深川七福神巡りで参拝しました。6番目は江東区富岡の永代寺（現在は上野の浄名院へ設置）に安置されています。

真性寺の仏事で、今もある珍しいものがあります。毎年6月24日の「百万遍大念珠供養」です。災いを免れるよう願をかけながら、参詣者が境内に広げた16mの大数珠を手で順々に回していく作法です。

巢鴨の商店街 (XX の原宿)



XXには「おばあちゃん」が入ります。巢鴨地藏通り別称としてつとに有名です。商店街は旧中山道そのもので、江戸中期から商業や信仰の場として栄えてきています。商店街は800mほどで、両側にお店がいっぱいあり、200軒ほどあるそうです。

巢鴨地藏通りは江戸時代、中山道の出発地点日本橋から出発して最初の休憩所(江戸時代の言葉で立場(たてば)と言います)が江戸六地藏尊 真性寺から巢鴨庚申塚の間に点在し、町並みが作られました。

そして、明治24年には、とげぬき地藏尊 高岩寺が上野(現在のの上野の新幹線の駅のそば)から巢鴨へ移転し、現在、巢鴨地藏通りは「とげぬき地藏尊」と「江戸六地藏尊」の2つのお地藏様と巢鴨庚申塚に守られて、商業の街・信仰の街としてお年寄りを中心に若い方々にも親しまれています。

とげぬき地藏 (高岩寺)

1596年開創の曹洞宗の寺院で、ご本尊は病氣平癒や健康長寿のとげぬき地藏尊です。江戸時代、針を誤飲した女性に、地藏菩薩の霊印を写しとった紙札「御影」を飲ませたら、紙札と針が口から出たことから、とげぬき地藏と呼ばれるようになったそうです。



このお地藏さんは現在ではなにを抜くのかというと、心の刺を抜くということだそうです。ここの境内には、病気の快復を祈り身体の悪い所を洗う、洗い観音もあります。ご利益一杯のありがたいお寺です。

本堂右手の欄干の下に緑色のプレートがはめ込ん

でありました。この高岩寺は「登録有形文化財第13-0237号」でした。ますます、ご利益がありそうな感じがしました。



庚申塚 (都電荒川線)

庚申塚は村境の街道などに建てられる石塔のことで、今では見かけることは少なくなりました。巢鴨地藏通り商店街入口脇の四差路の角にある巢鴨庚申塚は、1502年に建立され、江戸時代には多くの人でにぎわったそうです。猿田彦大神も合祀されていました。



入口の三猿が目印の巢鴨の庚申塚は、安藤広重の「巢鴨庚申の図」にも描かれているほど有名です。江戸時代は、板橋宿に入る前の旅人たちの休憩スポットでもありました。

つぎは、三ノ輪へ

いよいよ、お待ちかね昭和が懐かしい都電乗車です。都電荒川線は、東京さくらトラムの愛称があります。カラフルな都電、一両編成?、運転台のコントローラ、そして発車の「チンチン」という音、1乗車金170円で大いに堪能しました。

都電荒川線



うなぎパワーは、巢鴨商店街散策を軽い足取りでクリアーし、まだまだ威力が残っていました。巢鴨商店街800mの端にある庚申塚は、路面電車の都電荒川線（東京さくらトラム）の停留所です。ここから、乗車してローカルそのものの車窓風景を楽しみました。

「チンチン」という発車合図のベル音がなんとも懐かしい、それが荒川線の都電で現在も現役です。東京市時代からの歴史を持つ都電路線は、廃止され唯一残る路線がこの荒川線で、大部分が専用軌道なので現在も健在で人気路線です。道路との併用軌道区間は全区間の14%（1.7km）です。

箕輪橋駅のバラ

この沿線には、春の桜トンネルがあり、訪れた季節は沿線のバラが素敵でした。このバラは、沿線の方がボランティアで栽培し手入れをしているものです。



氏素性正統、姿も一流、このようなブランドもののバラの花壇があるのが、都電荒川線の沿線の花壇です。一つ一つが品格を醸し出す、バラ花壇です。

都電三ノ輪橋停留所に咲き誇る、大輪のバラバラバラ・・・をほんの少々ご紹介します。



ちなみに、6月10日は「路面電車の日」でした。この荒川線の車庫では都電の車両の記念撮影会がありました。緑色の都電「五十周年記念号」が人気でした。車体の緑に、赤色と黄色のバラに映えています。

なお、展示車両には、赤色の8900形もありました。都電荒川線の車両はカラフルで赤、緑、黄、紫、青などがあり、車両の形も最新形からクラシックの様子を再現したものあり、塗装色が豊富で見飽きません。

都電が都内交通の主役だった昭和40年代、車両の色は、山吹色でした。武蔵小金井の江戸東京たてもの園に展示してある車両で、この山吹色に塗装されている都電を見ることができます。



大発見！三ノ輪橋の昭和

空き地の奥にアパート「極楽荘」、左手にお稲荷さん、映画のセットかと目を疑いました。



都電三ノ輪橋停留所を降りると、スナック横丁がありました。灯ともし頃、吸い込まれる魔力発揮でしょうね。今回は、パスでした。



昭和のホーローの看板がありました。昭和人なら一度は見たことがある看板、ホーロー仕立ては古びないのいいですね。お宝鑑定団で、出品では大人気。



三ノ輪橋で打上

三ノ輪橋電停前の喫茶店にて打上をしました。ここ迄8千歩、よく歩きました。

本日は最高気温34度、いい汗をかいたWSCらしい健脚健康におしゃべりの絶えない一日でした。

ちなみに参加の2名の会員にとって、本日は御年〇歳のお誕生日でした。8千歩を難なく歩き通した8〇歳の健康に乾杯です。



リーダーから

(東京都豊島区)

当日は6月の梅雨の中休みで最高気温が34.8度の猛烈な暑さでした。

「こんな暑い日ですがウナギを食べて今年の夏を乗り切りましょう」と18名全員集合し、意気軒高です。

私事ですが先週、脚の手術をしたばかりの小生は巢鴨・三ノ輪への参加を断念。理事長に皆様の引率をお願いいたしました。もうすぐ80歳、「傘寿」です。あと何年、元気で居られるのでしょうか。

「徒(いたづら)に齢(よわい)を重ね80年・・・」と友人から手紙が来ました。誰からも必要とされなくなってしまったとの嘆きでした。自分には、WSCのボランティアがあり、もう少しがんばっていきます。

「都鳥」のご主人は、都立北園高校のバレー部の2年先輩です。当時、私の親父も新橋駅前「大和田」という鰻屋を経営していたものですから、時々駒込の「都鳥」にも寄ったりしました。その後、バレー部のOB会でよく利用させていただいています。味は昔か

ら江戸前で、ほどのよい蒸しと焼き加減です。また、いつも無理をきいていただき、WSCのためにお昼だけ「貸切」にさせていただいております。感謝です。

参加しての感想

(千葉県船橋市)

梅雨が明けたかのような暑い日でした。染井吉野桜発祥の地(駒込駅付近)で集合して、都鳥へ向かいました。いつものように、都鳥のうな重は美味しかった。鹿児島産のウナギは大きかった。コストパフォーマンスが高く他に比べられない。食事につられてお酒が進み(ビールの差し入れもいただき、感謝)満腹でした。

腹ごなしという失礼ですが、神山さんの案内で巢鴨銀座(2回目)散策し疲れが出た頃、都電荒川線(初めて)に乗車しました。最新の路面電車で沿線のバラがきれいでも立っていても気にならなかった。

皆さん健脚で、私の万歩計は自宅から12,000歩を超え、最後の締めは喫茶店で甘いもの(コーヒーフロート)を味わう反省会となりました。

次回もまたぜひ参加したい。リーダーの葭江さん、ご参加の皆様ありがとうございました。

(神奈川県横浜市)

毎年この行事には参加させていただいていますが、その度においしく、安価で、そして皆様と一緒に楽しく味わっています。また食後の近傍探索も思い出を積みむばかりでなく、学生時代に通った都電利用の記憶も想起しその想いをあらためて噛みしめることにもなりました。

お店の関係もあって参加人数が制限されてしまうことが本当に残念ですが、希望者が十分多ければ2部制もあつたらいいなと考えたりします。

当日は6月中旬というのに、既に真夏の日照りうだるような暑さでした。ご高齢の方が多い中、熱中症になることもなく皆さんで楽しく近傍探索できたこともよかったです。